

「孤独なハヤブサの物語」を読みました。

沢木耕太郎さんの訳です。

狩りをして他の動物を食べることで生活を営むハヤブサが、

ふと、狩りをするに疑問を感じるころから、ストーリーははじまります。

... そうすると食物連鎖が、なんていうヤボなことは考えてはいけません。

ちょっと話が綺麗すぎるかな～という感じはしますが、

挿絵や、簡潔な文章に、いろいろなことを考えさせられました。

ちなみに、あとがきによると原作者はキリスト教の聖職者であるとのこと。

なるほど。